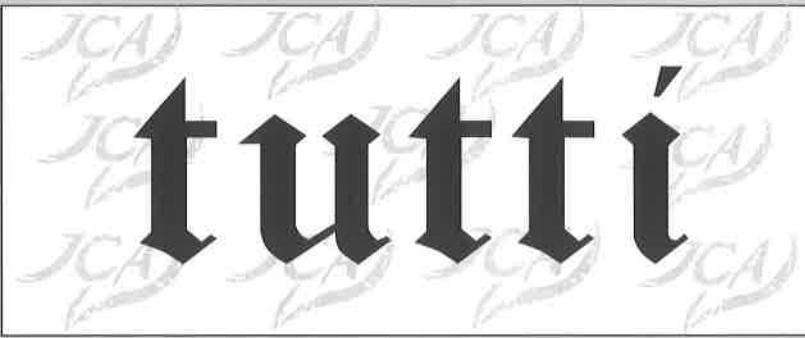


富山県合唱連盟



第72号 2022年12月25日

富山県合唱連盟

事務局 北日本新聞社事業局内
〒930-8680

富山市安住町2番14号

TEL (076) 445-3355

FAX (076) 431-1924

発行人 中井 隆司



第75回中部合唱コンクール (全日本合唱コンクール中部支部大会) 2022.9.24(土)・25(日) 新川文化ホール



第75回中部合唱コンクール

2022年9月24日(土)・25日(日)、富山県新川文化ホールにて、第75回中部合唱コンクールが開催されました。中部支部7県から56団体が出演し、素敵なハーモニーを届けてくれました。審査員には、阿部 純(声楽家) 高嶋昌二(合唱指揮者) 辻 秀幸(合唱指揮者) 仁階堂 孝(合唱指揮者) 森山至貴(作曲家) の先生方をお迎えしました。

会場 新川文化ホール

9月24日(土) 9時30分

高等学校部門(A・Bグループ)
大学職場一般部門(大学ユースの部)

9月25日(日) 9時30分

中学校部門(混声・同声の部)
大学職場一般部門(室内・同声・混声の部)

合唱に対する意識を高めたり、全員で作りに上げ、届けられることの良さを感じたりする機会になりました。これを今後の活動に生かして行きたいと思います。

「充実感溢れる演奏ができました」

アンサンブル舞歌 木越俊一

舞歌は、室内合唱の部に混声合唱で挑戦。

3年ぶりのオンステージでの中部支部大会。前団体の演奏が終わり、いよいよ舞歌の演奏が始まる。諸事情のため、中部支部大会に出演できなかった団員の分まで演奏しようという強い思いを抱いてステージに立つ。課題曲は、指揮者も団員とともに歌う。指揮者は不在だが、各自が気持ちを一つにして歌った。自由曲の3曲は、指揮の三好草平マジックに操られ、気持ちよく歌うことができた。あつという間の12分間。歌いきったという充実感が団員全員を包み込む。今回の自由曲では、栗山文昭作詞・森山至貴作曲の「聞き上手」を演奏した。舞歌初めての委嘱作品。合唱界に新風を送り込んだという満足感と、この素晴らしい曲を初演することができたという喜びを感じている。これを契機に、今後も幅広い活動を進めていきたい。

○富山県代表として以下の団体が出場し、各賞を受賞しました。

〈中学校部門 同声合唱の部〉

☆金賞 砺波市立出町中学校合唱部

〈高等学校部門 Aグループ〉

☆銀賞 富山県立富山いずみ高等学校合唱部

〈大学職場一般部門 大学ユースの部〉

☆銅賞 富山大学合唱団

〈大学職場一般部門 室内合唱の部〉

☆銀賞 アンサンブル舞歌

※第76回全日本合唱コンクール
中部支部大会予定
2023年9月23日(土)・24日(日)
三重県総合文化センター

りませんでした。

しかし、大会の2日間を通して、会場・誘導・舞台・審査・接待…全部門の皆様には本当に一生懸命やっただけでした。ありがとうございました。

今大会は、コロナだけでなく、直前には大雨や台風接近の予報もあってハラハラしました。いくつもの幸運が重なって開催できた、まさに奇跡的なコンクールでした。中部支部の皆様から「このコロナ禍にあって、富山県連の皆様が一丸となって本当によくやられましたね」と、温かいお言葉をいただきました。

2024年6月、新川文化ホールで「全日本おおかさんコーラス中部支部大会」、そして2025年10月、オーバード・ホールで「全日本合唱コンクール全国大会(中学校・高等学校部門)」を開催します。

本県からも多くの団体に出場してほしいです。また開催にあたっては、十分余裕を持ってご案内しますので、大会運営にも是非ご協力をお願いします。

「第75回中部合唱コンクール」に出場して

富山大学合唱団 2年 藤澤 萌

去年は音源審査となり、ステージ上で歌うことが叶わなかった中部支部大会ですが、今年は念願叶って歌わせていただきました。今年は6人の1年生が加わり、コンクールに向けて練習を行いました。しかし大学の学業もあり、全員揃っての練習ができないこともありました。その中でも練習内容を共有し、各自が練習して合わせられるように工夫をしました。そして富山県大会において代表に選ばれ、そこからはより一層気を引き締め、練習を行いました。中部支部大会本番では思い切って歌うという意識の元、少しの緊張が混じる中ステージに向かいました。緊迫感をまとったステージは一層広く感じましたが、よく響く大きなステージで聴いている人に届けられるように歌えることの喜びや楽しさも改めて感じました。今回のステージで歌うという経験は団員の

富山の皆さま ありがとうございます

全日本合唱連盟中部支部長 北野良徳

このたびの「第75回中部合唱コンクール」開催にあたり、富山県合唱連盟の皆さまには大変なお世話になりましたこと、まずは、心より御礼申し上げます。

中部支部は、富山・石川・福井の北陸3県、愛知・岐阜・三重の東海3県、信州・長野県のあわせて7県で構成され、各種事業は輪番で7年に1度、各県に回ってくるようになります。7年も経過すると、記憶が薄れたり、県連のメンバーが代わったり、場合によっては大会の運営方法が変わっていたりすることもあります。大会運営全般を再確認するためにも、前年大会を視察して、そのうえで準備をするようにしてきました。しかし、新型コロナウイルスの疫禍によって一昨年は中止、昨年は録音による開催でしたからそれもままならず、これに「新型コロナウイルス感染防止対策」が加わって、大変なご面倒をおかけしたと思います。さらに今夏は、北陸地方を中心に甚大な豪雨災害もありました。そのような状況の中、3年ぶりの「リアル開催」を大過なく終えることができましたのも、富山県合唱連盟の皆さまのご尽力によるものと、重ねがさね厚く御礼申し上げます。

今後も「全日本おおかさんコーラス中部支部大会」、「全日本合唱コンクール全国大会」の富山県での開催をお願いすることになりますが、どうぞよろしくお願い申し上げます。

大会成功！ありがとうございます！

富山県合唱連盟理事長 中井隆司

3年ぶりのリアル開催！安心安全な方法をギリギリまで探りました。十分な感染防止対策を講じ、最少人数で中部7県56団体の皆様を温かくお迎えしたい…。廣本浩太事務局長を中心に、実行委員の皆さんが協議を重ねました。協力員のご依頼が開催1週間ほど前になり、役員名簿や各部のマニュアル配付も直前でした。本当に申し訳あ

コラム

私たちのイチオシ合唱曲

~歌う楽しみ、聴く楽しみ、合唱曲への思いを語りませんか~

私のイチオシ合唱曲は、とても有名な楽曲、信長貴富さん作曲の「きみ歌えよ」です。とやま女声アンサンブル「きらめき」は高校時代に合唱を楽しんだ仲間を中心に結成しました。高校時代、コーラス部で出会った「きみ歌えよ」。当時は混声合唱でしたが、この曲を聴くと、音楽室の風景、隣で歌う友達、指揮の松下先生、その時の雰囲気が鮮やかに蘇ってきます。「きらめき」を始めてしばらくしてから、女声3部合唱版に取り組みことになりました。ユニゾンで始まり、2部になり、3部になり、徐々に厚みを増して盛り上がっていくけれど、どこか切なさが残るメロディ。2018年に開催した結成10周年記念コンサートで演奏した時には、大人になった今でも、高校時代の先生や友達と一緒にまたこの曲を歌えていることにとても感動を覚えました。「きらめき」はコロナ禍となってから活動を休止しています。また、「悲しいこと」「辛いこと」「うれしいこと」「好きなこと」を自由に歌える日々が戻ってくることを祈っています。

とやま女声アンサンブル
「きらめき」 藤井千愛



